

第2学年1組 英語科学習指導案

平成30年6月13日(水曜日) 第6時限(2-1教室)

██████████中学校

指導者 ██████████

1 題材 Daily Scene 2 ていねいをお願い

2 題材について

(1) 題材の意義

本題材は、対話形式で構成されており、「許可を求める・依頼する」ときのていねいな表現を扱っている。横浜に遊びに来たエリカが、通りがかりの外国人女性に写真を撮ってもらう場面である。

グローバル化が進む今日において、街の至るところに外国人観光客を目にするようになってきた。特に、2020年には東京オリンピックの開催が迫っており、また、2025年の大阪万博誘致活動も盛んにおこなわれている。地球規模の祭典が近い将来日本で開催され、それに伴って、より多くの外国人が日本を訪れることが予想される。また、海外への観光も身近なものとなっており、観光先で写真を撮ってもらうためにお願いする場面を経験する生徒が出てくると予想される。

本題材は初対面の人に対して、英語でていねいに許可を求めたり、依頼したりする場面を取り扱っており、新しい文法として“May I~? (許可を求める)”、“Could you~? (依頼する)”を学習する。英語にも、場面や相手に応じて、ていねい度の違う表現を用いることに気づき、場面に応じて表現を使い分けられるようになることは、コミュニケーションをする上で大変重要である。本題材は、許可や依頼の既習表現の中から、自分の伝えたいことを適切に使い分けることができる生徒を育成するのに有効である。

(2) 系統的に見た位置

『ていねいをお願い』は、『許可を求める・依頼する』ときのていねいな表現が使われる場面』であり、『生徒の身近な暮らしにかかわる場面』である。

生徒はこれまでに、New Horizon 1のDaily Scene 6において、Can I~?やCan you~?を用いた依頼や許可を求める表現を学習してきた。また、Unit 2で、Show me~, やGive me~, という身近な相手に依頼する表現を学習した。本単元で学習するMay I~?やCould you~?を用いた表現は、今まで学習した表現よりもていねいであり、初対面の人との対話や生徒と教師、先輩と後輩といったややかしこまった場面や状況において、相手に依頼や許可を求める場面で用いることができる

本単元で学習するMay I~?の表現はDaily Scene 4「電話の会話」やDaily Scene 7「買い物」でも扱われており、適切な表現の使い分けや実践的な表現も身に付けることができる。

(3) 題材と生徒の関係

年度当初に行った意識調査で生徒は、「英語が使いこなせたら、将来の仕事に役に立つ」「活動を通して、自分の言いたいことが伝わって楽しい」と英語の有用性や学習の楽しさを感じていることが分かった。また、将来、外国へ留学したり、英語を用いて世界の人々と関わる仕事に就いたりしたいと考えている人も多い。一方、学習内容の深まりに伴い、「内容が難しい」「学習方法が分からない」と悩み始めている生徒も多い。

そこで、本題材を通じて、初対面の外国人との簡単なコミュニケーションをとるための基礎的なやり取りを学習する。外国人とのコミュニケーションを取りたいと願う生徒にとって、初対面の人に対しては、ていねいな表現をすることが不可欠であり、そのような場面で役に立つと考える。また、本単元を通して、簡単な対話を作り、発表することによって、英語を使って気持ちを伝えることの喜びを感じさせることができると考える。

3 目標

助動詞の二つの用法の違いを理解しながら、場面や相手に応じて、ていねいに許可を求めたり、依頼したりして表現することができるようにする。また、いろいろな動詞を用いることで、表現の幅が広がることを理解することができるようにする。

4 評価規準

- 相手へていねいに許可や依頼をしたり、気持ちを込めて問答したりしている。
(関心・意欲・態度)
- 相手へのていねいな許可・依頼をしたり、問答したりすることができる。
(外国語表現の能力)
- 発表を鑑賞し、他の生徒の発表の内容を聞き取ることができる。
(外国語理解の能力)
- 助動詞の二つの用法とそれぞれの意味の違いを理解している。(知識・理解)

5 指導計画と評価計画 (2 時間完了)

関…関心・意欲・態度 表…外国語表現 理…外国語理解 知…知識・理解

指導計画		評価計画	
学習内容	時数	観点	評価基準と評価方法
1 Daily Scene 2 ・公共の場での会話 ・助動詞の二つの用法 ・ていねいな依頼表現を用いた対話作り	1 本時	関	公共の場所での会話を積極的に聞き取っている。【行動観察】
		表	場面や相手に応じて、丁寧に許可を求めたり、依頼したりすることができる。【行動観察】
		知	May I~?や Could you~?の形・意味・用法を理解している。 【ワークシート・行動観察】
2 プレゼンテーション	1	関	学習した表現を用いて、積極的に

・ May I ~? / Could you ~? を用いた対話の発表		コミュニケーションをとろうとしている。 【行動観察】
	表	ジェスチャーやアイコンタクトを使って、相手に伝えようとしている。 【発表】
	理	他の生徒の発表を通して、助動詞の二つの用法の聞き取りをすることができる。 【行動観察】

6 本時の目標

(1) 目標

助動詞の二つの用法の違いを理解しながら、場面や相手に応じて、ていねいに許可を求めたり、依頼したりして表現することができる

(2) 準備

ワークシート・グループワーク用の写真・CD (プレーヤー)・マグネット・単語カード・ピクチャーカード・フラッシュカード。

(3) 指導過程

時間配分	学習活動	指導上の留意点
2分	1 英語であいさつをし、教師の質問に答える。 (1) 英語であいさつをする。 (2) 日付や曜日の問答をする。	○ 英語学習への雰囲気づくりをするために、元気にあいさつや対話をする。 ○ 黒板に日付と曜日を書かせ、単語のつづりを定着させる。
	<p>【教師の質問と予想される生徒の答え】</p> <p>T : What's the date today? T : What day is it today? S : June thirteenth. S : Wednesday.</p>	
1分	2 本時の目標を聞く。	
	ていねいなお願いの表現を使って、短い会話を作ろう。	
		○ 本時の目標を意識しながら活動に取り組めるように、目標を記した紙を黒板に掲示する。
10分	3 教科書で出てくる新出の言語材料 (助動詞) の確認と、そ	○ 有名人の写真を提示する。 ○ 会話の関係を意識させ、ていねいな依頼

	<ul style="list-style-type: none"> ・英語→日本語 ・英語→英語 ・日本語→英語 <p>(4) 教科書の本文の意味を確認する。</p> <p>(5) 本文の音読練習をする。</p> <p>(6) 練習問題に取り組む。</p>	<p>り、意味の確認をさせたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 初めて目にする単語や語句でも円滑に音読できるように、一文ずつ読むことから始め、続いて会話のまとまりごとに読むといったように、段階を踏んだ指導を行う。また、教師の後について繰り返し練習させることで、自信をもって音読できるようにする。 ○ ワークシートを配布する。 ○ 教科書の語句を用いて、学んだ表現を組み立てるように指示をする。
11分	<p>5 助動詞を用いた言語活動に取り組む。</p> <p>(1) 活動についての説明を聞く。</p> <p>(2) ワークシートの会話欄にセリフを記述する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各グループに2人の人物が載った写真を配り、イメージをつかませやすくさせ、言語材料（助動詞）の使用場面や用法について考えさせる。 ○ 適切に英語を表現できているかアドバイスをしたり、見本を示したりして、グループの話し合い活動がしやすくなるようにする。 ○ 早く会話を作れた班には、次回の発表に向けて練習させる。
1分	<p>6 英語であいさつをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 積極的に学習に取り組めたことを生徒が実感できるよう、賞賛の言葉を伝える。

評価事項

ていねいな依頼表現を理解し、それを用いた会話を作ることができる。

【活動観察】（外国語表現の能力・言語や文化についての知識・理解）

□生徒同士がお互い適切な表現や正確な発音を指摘し合うように助言する。

☆すらすらと表現豊かに発表できるように、繰り返し練習させる。

7 板書

めあて ていねいなお願いの表現を使って、短い会話を作ろう。

Can I

<メモ>

☆ May I take pictures with you?

・ May I ask you a favor?

許可 ～してもよいですか。

・ Could you take our picture?

Can you

・ another one

☆ Could you sign here?

=picture

依頼 ～していただけますか。